

おはなしを よもう

なまえ

◎よんで こたえましょう。

「㊦どきどきするね。」

ぼくのまえで まっていた たいちくんが、はなしかけてきた。

「㊦うん。」

たいちくんは、にこにこしていたが、ぼくはほんとうに どきどきしていた。

「つぎは、たいちくんのばんです。」

と、せんせいが いった。

たいちくんは、おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。

「どん。」

とおとがして、たいちくんは とびばこを とんだ。

「㊦やったね。おめでとう。」

せんせいは、そういつて ぼくのほうを みた。

「さあ、がんばってみようか。」

ぼくの しんぞうのおとが はっきりと きこえた。

てを ぐつとにぎると、てのひらから あせが でてきた。

ぼくは つばをのみこむと、ぎゅっと 目をつぶった。

㊦

、目をあけてとびば

こをみた。「いくぞ。」と こころのなかでつぶやいて とびばこへ むかつてはしった。

ふみきりばんを ふみきって、とびばこを うしろに おしていくように てをおもいきり うごかした。

マットの 上に のったとき、ころびそうになった。

㊦

、とびこえることが

きた。



① ㉞、㉟、㊱のことばは、ぼく、せんせい、たいちくんのうち、だれがいったことばですか。

「㉞どきどきするね。」

()

「㉟うん。」

()

「㊱やったね。おめでとう。」

()

② たいちくんは、どのようにとびばこをとびましたか。たいちくんのようにすにあっているものに○をつけましょう。

○ ふみきりばんをふみきって、とびばこをおすように てをうごかした。 ()

○ おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。 ()

○ とんだときに、「どん。」と おどがした。 ()

③ ぼくは、とびばこを とぶまえに、こころの中で どんなことを かんがえていましたか。ふきだしにかきましょう。



④ ㊲には、どんな ことばが あてはまりますか。ただし くみあわせの

ものを えらびましょう。

1 ㊲ そして ㊳ さらに 2 ㊴ しかし ㊵ そこで

3 ㊶ それから ㊷ でも 4 ㊸ また ㊹ ところが

おはなしを よもう（こたえの れい）

なまえ

◎よんで こたえましょう。

「^⑦どきどきするね。」

ぼくのまえで まっていた たいちくんが、はなしかけてきた。

「^④うん。」

たいちくんは、にこにこしていたが、ぼくはほんとうに どきどきしていた。

「つぎは、たいちくんのばんです。」

と、せんせいが いった。

たいちくんは、おもいきりはして ふみきりばんをつよくけた。

「どん。」

とおとがして、たいちくんは とびばをとんだ。

「^⑥やったね。おめでとう。」

せんせいは、そういつて ぼくのほうを みた。

「さあ、がんばってみようか。」

ぼくの しんぞうのおとが はっきりと きこえた。

てを ぐつとにぎると、てのひらから あせが でてきた。

ぼくは つばをのみこむと、ぎゅっと 目をつぶった。

⑤

、目をあけてとびば

こをみた。「いくぞ。」と こころのなかでつぶやいて とびばへ むかつてはしった。

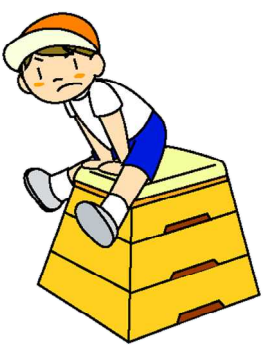
ふみきりばんを ふみきって、とびばを うしろに おしていくように てをおもいきり うごかした。

マットの 上に のったとき、ころびそうになった。

④

、とびこえることが

きた。



① ㉞、㉟、㊱のことばは、ぼく、せんせい、たいちくんのうち、だれがいったことばですか。

「㉞どきどきするね。」

(たいちくん)

「㉟うん。」

(ぼく)

「㊱やったね。おめでとう。」

(せんせい)

② たいちくんは、どのようにとびばこをとびましたか。たいちくんのようにすにあっているものに○をつけましょう。

○ ふみきりばんをふみきって、とびばこをおすように てをうごかした。 ()

○ おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。 ()

○ とんだときに、「どん。」 おとがした。 ()

③ ぼくは、とびばこを とぶまえに、こころの中で どんなことを かんがえていましたか。ふきだしにかきみましょう。

(こたえの れい)

どきどきするな。とべるかな。

・たいちくんみたいに、ぼくもとびたいな。がんばるぞ。

・いよいよぼくのばんだ、いくぞ。

※どきどきするきもちや、がんばってとぼうとするきもちがかかれていれば、よい。



④ ㉞、㉟には、どんな ことばが あてはまりますか。ただし くみあわせの

ものを えらびましょう。

1 ㉞ そして ㉟ さらに 2 ㉞ しかし ㉟ そこで

3 ㉞ それから ㉟ でも 4 ㉞ また ㉟ ところが